観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和 7 年 8 月 22 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･(地域ＤＭＯ)	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人　波佐見町観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	長崎県東彼杵郡波佐見町	
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷 2255-2	
設立時期	令和元年 12 月 2 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの１年間	
職員数	8 人【常勤 8 人（正職員 8 人・出向等 0 人）、非常勤 0 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 松下 和徳 （出身組織名） （株）松下建設	（一社）波佐見町観光協会の代表理事及び会長 波佐見町で建設業を営みながら、温泉施設や民泊施設、飲食店を経営。波佐見町の観光振興に尽力しており、町内外の人脈も豊富である。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー	（氏名） 三浦 裕介「専従」 （出身組織名） （一社）波佐見町観光協会	令和元年 5 月に波佐見町観光協会の事務局長に就任。波佐見町観光協会の法人化に伴い、専務理事兼事務局長となる。以前は民間の製造業にて勤務。主に社内ベンチャー事業を担当し、海外子会社や工場などを設立した実績を持つ。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 野口 雅彦「専従」 （一社）波佐見町観光協会	波佐見町役場で 9 年間勤務。退官後民間の保険会社に就職していたが、波佐見町役場で前町長の秘書官をやっていた経歴や、行政の財務に明るいことからオファーをかけ、2022 年 4 月より波佐見町観光協会の社員となる。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 大杉 夏紀「専従」 （一社）波佐見町観光協会	HP、インスタグラム、通販サイト、プレスリリースなど情報発信事業全体を担当。
各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 山脇 慎太郎 （出身組織名） （株）新栄	（一社）波佐見町観光協会の理事 波佐見町内で旅行会社を経営しており、各サイズのバスやレンタカーを所有。観光協会とは様々な観光・体験プログラムで協働している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	■波佐見町 ・商工振興課（役場内部署取りまとめ窓口） （観光政策・観光商品の企画・立案 / 観光施設整備・活用 / 観光 PR・マーケティング等）	

様式１

	・農林課 （グリーン・ツーリズム推進 / 農産品ブランド化・販路拡大 / ６次産業化など） ・教育委員会 （芸術・文化・スポーツイベントの企画・立案 / 文化財・文化施設等の整備・活用等） ・企画財政課 （波佐見町広報紙の発行 / 各種調査・統計情報の提供 / 総合計画・各種戦略策定の協働等） ■他市町・団体との連携 ・経済産業省　九州経済産業局 （インバウンド観光関連事業支援） ・長崎県県北振興局　商工観光課 （長崎県北地域連携による観光 PR、誘客） ・長崎県観光連盟 （長崎県広域連携による観光 PR、誘客）
連携する事業者名及び役割	・はさみ観光ガイド協会（事務局　波佐見町観光協会） （波佐見町観光ガイドの要請・ガイド人材育成・観光誘客での協働等） ・特定非営利活動法人グリーンクラフトツーリズム研究会 （農泊の推進・まちつくり・クラフトツーリズム推進・観光誘客・人材育成等） ・波佐見焼振興会 （波佐見焼の PR / 窯業人材育成 / 町内外イベントの企画・立案等） ・株式会社新栄 （町内に本社を有する旅行会社。旅行商品などの共同開発） ・相互交通㈱ （乗合タクシー・観光周遊タクシー連携） ・㈱マユミ （乗合タクシー・観光周遊タクシー連携） ・肥前窯業圏活性化推進協議会 （唐津市・伊万里市・武雄市・嬉野市・有田町・佐世保市・平戸市・波佐見町の広域連携による地域の活性化事業の企画・立案・協働等） ・長崎県立大学、長崎総合科学大学、長崎県立波佐見高等学校 （マーケティング・各種統計調査・まちつくり計画・各種イベントでのボランティアスタッフの動員等） ・東彼商工会、波佐見陶磁器工業協同組合、長崎県陶磁器卸商業協同組合 （各種イベントでの連携・情報の共有等）
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件①】 ①総会 当協会には観光関連事業者のみならず、多種多様な業界から会員 221 名（企業・団体・個人）が参画し、各種業界を代表する会員が、顧問や参与となっている。役員によって構成される理事会において、波佐見町の観光に関する事業等を協議するほか、年１回の通常総会を開催し、方向性や経営状態の確認・情報共有を行っている。 【該当する登録要件②】 ②観光会議 毎月１回、波佐見町観光協会主催の観光会議を開催。町内の窯業、宿泊、旅行、交通事業者及び、商工会、役場の職員が集い、町内の観光事業に関する情報の共有を行っている。

<table>
<tr><td></td><td>③事務局会議
毎月１回、波佐見焼振興会主催の会議を開催。町内の窯業、観光、宿泊、金融事業者及び、商工会、商業組合、工業組合、窯業技術センター、波佐見町役場、県庁の職員が集い、町の産業全体に関する情報の共有や意見の交換を行っている。
④朝飯会
毎月第１土曜日の午前６時より、特定非営利活動法人グリーンクラフトツーリズム研究会主催の異業種交流会を開催。町内外の産・学・官関係者及び、金融事業者、マスメディアに従事する者など、幅広い人材が集い、フリーテーマで交流を行っている。</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>・イベントワークショップ「とうのう」にて、農業生産者や窯業関係者にインスタラクターとして直接観光客と触れ合う機会を設けている（とうのうは、春夏・秋冬で毎年プログラムを作成している）。
・波佐見町により毎月発行されている『広報はさみ』にて、主要観光イベントの告知と、取材レポートなどの掲載を行っている。
・毎年３月に地域住民を募った町内バスツアーを開催し、波佐見町民に観光地としての波佐見町の魅力を伝えている。
・波佐見焼振興会と波佐見町教育委員会主催の「波佐見を知る講座」を定期開催。学芸員などを講師とし、波佐見町の歴史や伝統文化を町民に講習している。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・令和２年「インバウンドを見据えた着地整備及びPR事業」
1：波佐見町散策マップの多言語化（英語・韓国語・繁体語・簡体語）
2：町内飲食店及び観光施設の情報カード作成（日本語＋英語）
・令和２年「留学生による元気な長崎発信事業」
長崎県の大学に通う20名の多国籍留学生に１泊２日の波佐見町ツアーを体験してもらい、SNSを通じ留学生の母国に情報発信をしていただいた。
・令和２年「県内留学生の農泊体験」
長崎国際大学に通う４名のベトナム人留学生に波佐見町での農泊体験をしてもらい、SNSで母国に情報発信をしていただいた。
・令和３年「地域内循環事業」
廃石膏処理問題から端を発した「地域内循環事業」の取組をパンフレットにまとめ、波佐見町と波佐見観光のPRに活用。その取り組みの中で開発された「波佐見陶箱クッキー」がグットデザイン賞、長崎デザインアワードなどの多数の賞を受賞した。
・令和３年「クラフトツーリズム関連事業」</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

		香港人の KOL を波佐見町に招き、その方が波佐見町観光や陶芸体験を通じて得た意見をもとにして、英語と繁体語のパンフレットを作成。パンフレットでは波佐見焼の歴史や、波佐見焼の特徴である分業制を分かりやすく説明しており、中尾山での「泥漿鋳込み体験」を紹介している。
	受入環境の整備	・令和 2 年「インバウンドを見据えた着地整備及び PR 事業」 1：英会話教室の開催（全 12 回、1 回 90 分）対象者　ガイド協会会員、町内観光事業者 2：波佐見町内の多言語化調査
	観光資源の磨き上げ	・令和元年～令和 6 年　肥前やきもの圏作家展開催 佐賀・長崎の若手やきもの作家を集めた展示会を開催。年々人気が高まり、出店希望者・来場者ともに増加している。 ・令和 3 年～令和 5 年　HASAMI Outdoor FESTA 開催 やきもの公園の広大な敷地を利用したアウトドアイベントを開催。キャンプサイトも設営し、イベント開催中に 30 組ほどのキャンパーがキャンプ泊を行った。 ・令和 3 年　棚田キャンプ 晩秋の棚田に 12 組のキャンパーを募り、棚田キャンプを楽しんでいただいた。 ・令和 4 年　キャンピングトレーラーの宿開業 波佐見町のミナミ田園エリアにキャンピングトレーラーの宿「Riverside Trailer HASAMI」を開業。週末を中心に多くの方にご利用いただいている。

【定量的な評価】

（定量的な評価）

・年次観光客延べ数（長崎県観光入込客推計調査による）

H28 年：973,291 人 ⇒ H29 年：1,041,295 人 ⇒ H30 年：1,037,143 人⇒ 令和元年：1,042,404 人 ⇒ 令和 2 年：542,058 人⇒ 令和 3 年：653,736 人 ⇒ 令和 4 年：969,168 人 ⇒ 令和 5 年：1,034,773 人⇒ 令和 6 年：955,000 人（暫定値）

・年次延べ宿泊者数（長崎県観光入込客推計調査による）

H28 年：39,541 人 ⇒ H29 年：43,817 人 ⇒ H30 年：43,590 人 ⇒ 令和元年：45,558 人 ⇒ 令和 2 年：30,903 人 ⇒ 令和 3 年：34,127 人 ⇒ 令和 4 年：41,891 人 ⇒ 令和 5 年：45,958 人⇒ 令和 6 年：46,35 人（暫定値）

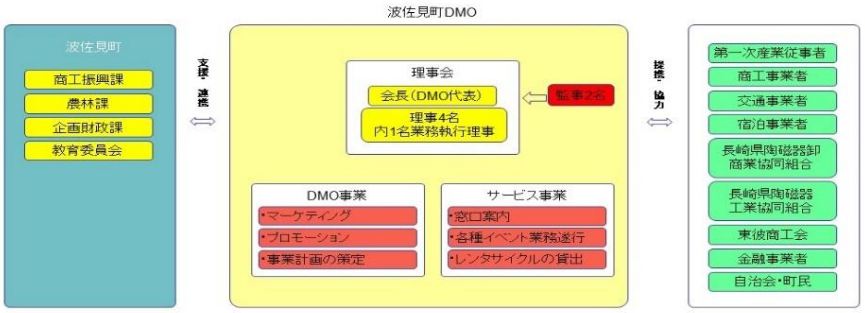
・年次延べ外国人宿泊者数（長崎県観光入込客推計調査による）

H28 年：329 人 ⇒ H29 年：1,021 人 ⇒ H30 年：1,042 人 ⇒ 令和元年:1,674 人 ⇒ 令和 2 年：54 人⇒ 令和 3 年：0 人 ⇒ 令和 4 年：731 人⇒ 令和 5 年：1,996 人

・レンタサイクル事業の利用者数

H28 年：119 人 ⇒ H29 年：91 人 ⇒ H30 年：223 人 ⇒令和元年：250 人 ⇒ 令和 2 年：205 人 ⇒ 令和 3 年：206 人 ⇒ 令和 4 年：301 人⇒ 令和 5 年：320 人⇒ 令和 6 年：213 人

様式１

実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	（実施体制の概要） ・（一社）波佐見町観光協会では、行政、観光関連事業者、商業組合、工業組合、波佐見焼振興会、NPO 団体、経済団体、金融事業者、宿泊事業者、飲食事業者、農業関係者、文化団体など、町内の多様な関係者が参加する総会と、会長（代表理事）と理事で組織する理事会により組織の意思決定がなされている。波佐見町商工振興課との連携により、着地型観光プログラムの開発、キャンプ場など宿泊施設の開発、お土産品の開発・販売などの収益事業を推進している。 ・観光プロモーション、観光情報の発信などについては、行政との連携を図り、情報発信、プロモーションの一元化を推進している。 ・令和 2 年度（令和 2 年 4 月より）事務局長をマーケティング担当者とし、各種データの分析、PDCA サイクルを確立した上で効率的な事業運営を行っている。 ・平成 29 年度に策定した「波佐見町観光振興計画」策定に基づき、平成 29 年度から「波佐見町観光まちづくり推進協議会」を、行政、観光関連事業者、商業組合、波佐見焼振興会、観光ガイドの会等で立ち上げて、観光マーケティング調査を行い、観光振興計画の進捗をはかっている。 （実施体制図） 

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域設定の考え方】

波佐見町：長崎県のほぼ中央、東彼杵郡北部の内陸部に位置し、波佐見町の人口は 14,193 人、世帯数 5,399（令和 5 年 6 月現在）、高齢化比率 32.7%の町で、近年人口は若干の減少傾向である。

全国の一般家庭で使われている日用食器の約 14%を生産する 400 年の歴史を有する全国屈指の「やきもの」の町である。また、平地部では早くから農地の基盤整備が進み圃場整備された圃場で米麦大豆などの土地利用型農業や山間部では棚田 100 選に選出される棚田もあり農業も盛んである。中山間地の農業で 30a に満たない耕作地をもつ小規模農家が多く、窯業の生産が増えると共に農家が窯業に従事し兼業で農業を続ける農家が増えてきた。今でも窯業の傍ら、農業を営む「半農半窯」の家庭も多い。

観光においては、平成 16 年に交流人口の拡大を目指し「きなっせ 100 万人」を合言葉に、農業と窯業を組み合わせたグリーン・クラフトツーリズム運動を推進し、陶磁器を生産・販売する町から、波佐見町に訪れたくなる観光のまちづくりの機運が高まり、「カジュアルリッチな波佐見焼ブランド」として立ち上げた。この 10 数年間続けた結果、平成 29 年度には、観光入り込み客数が 100 万人を突破した。波佐見焼ブランドの知名度は大きく広がりを見せてきて、商社、窯元においては若い後継者が出てきている。

また、平成 29 年度に波佐見町「観光振興計画」の中で、『陶・農・人でつながるワクワク観光まちづくり』の基本理念を打ち立て、窯業、農業、観光業と住民が一体となって取り組める方向付けが出来た。このように、波佐見町として一体となれる点が多く、当該町で連携した区域設定とするのが適切である。

【観光客の実態等】

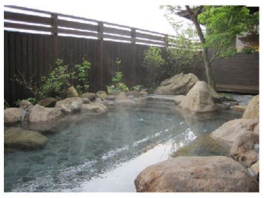
・年間観光客は毎年増加しており、平成 28 年は平成 19 年のおよそ 1.8 倍の年間観光客が訪れている状況にあり、平成 29 年度には、104 万人を突破した。令和 2 年はコロナウィルスのパンデミックの影響を受け、観光入込客数が 54 万人強と減少したが、これは毎年ゴールデンウィークの時期に開催られる「波佐見陶器まつり」で計上される約 30 万人の来場者数が 0 計上となった影

響が大きかった。令和３年も「波佐見陶器祭り」は中止となったが、観光入込客数は 65 万人強で、前年比+11 万人の 20%増しとなり、コロナ禍でも長崎県内と近県（福岡・佐賀）の客足は増加した。波佐見陶器まつりが復活した令和４年の観光客数は 97 万人となり、ピーク時の 104 万人の 93%まで回復した。令和５年は暫定値ながらピーク時に並ぶ 104 万人と完全に回復した。
・宿泊客に関しては２つの主要な宿泊施設が稼働し、平成 27 年は、前年より 12 倍の年間宿泊客数となり、平成 30 年度は 4.3 万人、令和元年度は 4.6 万人と順調に推移したが、コロナ禍の令和２年は 3.1 万人と前年比約 67%まで落ち込んだ。令和３年は 3.4 万人となり前年よりは若干の増加となった。陶器まつりが復活した令和４年は 4.2 万人まで回復した。令和５年は暫定値ながらピーク値である 4.6 万人と完全に回復した。
・2,000 坪の窯元の工場跡地を 10 年間かけてリノベーションした「西の原地区」は、雑貨店「花わくすい」、ギャラリー、カフェ「ムック」、が立ち上がり、年間 15 万人の 30～40 代など若い女性世代が訪れる観光拠点となり、ここを起点に、新しい飲食店やお店ができるようになった。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
【西の原地域】

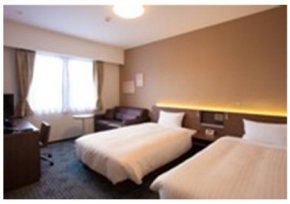
【中尾山の町並み】
波佐見焼 400 年の歴史の中でも、地域全体がほぼ焼き物一色に染まった独特の地勢と、歴史風土を現代に残している。

【鬼木の棚田　棚田 100 選】
日本の「棚田百選」に選ばれた名勝地で、「鬼木棚田祭り」には多くの観光客が訪れる。



【はさみ温泉　湯治楼】
とろみがあって、美肌にも健康にもよい、源泉かけ流しの波佐見温泉。

【波佐見焼の窯元】
町内には、波佐見焼の工場や窯元で見学できるところも多い。



【ホテル Bliss Villa 波佐見】
Ｂ＆Ｂ滞在型のホテル。44 室。

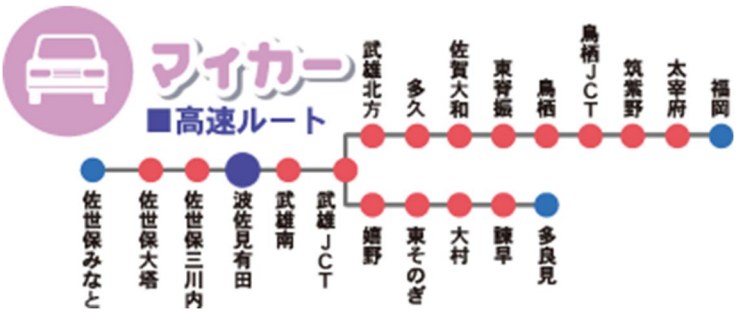
【つんの～で波佐見とうのう体験】
観光客、近隣むけ、地域資源活用の着地型観光商品。
平成 25 年から 10 年間継続して取り組んでおり、陶芸、食と器の料理教室、ガーデニング、まち歩き、酒蔵めぐり体験など年間を通して、数十の観光プログラムを提供。今回の地域ストーリーを展開していく上での滞在型体験プログラムとなる。

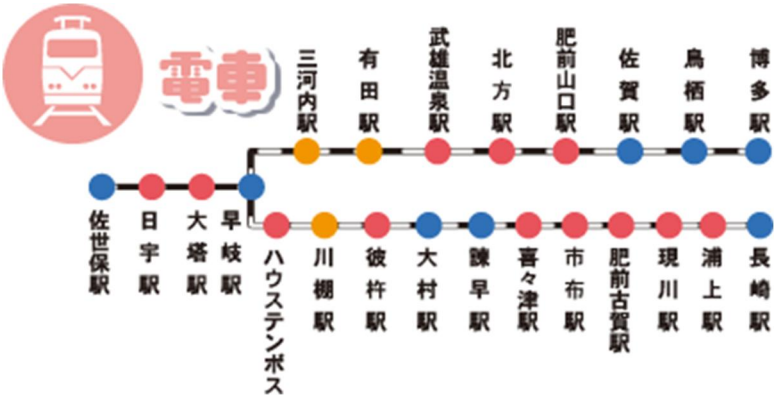
様式１

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

・ホテルブリスヴィラ波佐見：合計 44 室（徒歩 1 分の場所に提携の温泉有）
・HOTEL AZ 波佐見店：合計 91 室
・マツケンの宿：合計 5 室
・Riverside Trailer HASAMI（キャンピングトレーラーの宿）：1 室
・民泊数：5（令和 6 年稼働中のみ）

【利便性：区域までの交通、域内交通】





■ＪＲを利用して波佐見町にアクセスする方法と所要時間

●ＪＲ有田駅よりタクシーで 10 分

●ＪＲ三河内駅よりバスで 15 分

●ＪＲ川棚駅よりバスで 20 分

●西九州新幹線　嬉野温泉駅よりバスで 20 分

【域内交通】

・西肥バス
　川棚駅から波佐見町役場まで約 18 分
　嬉野から波佐見町役場まで約 20 分

・有田波佐見乗合タクシー

●路線　JR 有田駅前　KILN ARITA　⇄　波佐見有田 IC　⇄　波佐見町役場　⇄　陶芸の館　⇄　中尾山交流館（※ JR 有田駅前 ～ 中尾山交流館 を毎日８往復）

●料金　一日乗車券：大人 / 1,000 円、小学生 / 500 円（乗り降り自由、どの停車場所からも乗降可）

●予約　・奇数月（1・3・5・7・9・11 月）マユミタクシー
　　・偶数月（2・4・6・8・10・12 月）相互交通
・波佐見町周遊観光タクシー
タクシーを 2 時間貸切（延長可）
●料金　3,600 円（延長 1 時間ごと 1,800 円）
※波佐見町内のみを周遊できるタクシー。川棚駅・有田駅へのお迎えや送迎は不可
●予約・問合せ　波佐見町観光協会　TEL　0956-85-2290　受付時間　9：00～15：00

・波佐見レンタサイクル
●料金：4 時間まで 500 円、4～8 時間 1,000 円
●別途利用補償金として 1,000 円/1 台をお預かりし、自転車返却時に返却
●18 歳未満の方は保護者の方の同伴が必要
●身長：149cm 以上（適応身長目安）
●利用時間　9：00～17：00（貸出 16：00 まで）

【外国人観光客への対応】
・英語、中国簡体、繁体語、韓国語の観光パンフレットの概要版を設置している。
　令和元年のコロナ禍において、同言語の観光マップデータを作成済。
・令和 2 年のコロナ禍において、長崎県内の留学生を活用したモニターツアーを複数開催し、
　多数の国に観光情報発信を行った。
・令和 2 年に長崎県総合科学大学に対し町内の「多言語化調査」を依頼し、報告書を作成した。
・令和 2 年に、はさみ観光ガイド協会スタッフや町内の観光関連事業者従業員などを対象とした英会話教室を 3 ヶ月間開催した（毎週 1 回 90 分）。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光客延べ数	波佐見町への観光客延べ数の実態把握	長崎県観光統計データ
延べ宿泊客数	波佐見町への延べ宿泊客数の実態把握	長崎県観光統計データ
延べ外国人宿泊者数	波佐見町への延べ外国人宿泊数の実態把握	長崎県観光統計データ
観光消費額	波佐見町の観光による経済効果の実態把握	長崎県観光統計データ
外国人観光客　動態調査	波佐見町内での外国人旅行客の動向を把握し、マーケティングに活用する	公共 Wifi のログデータ *使用言語・アクセス場所がわかる
来訪者満足度	来訪者の満足度を把握することで、提供サービス、観光コンテンツの見直し、改善を図る	来訪者アンケート調査
リピーター率	リピーター率を把握することで、提供サービス、観光コンテンツの見直しや改善を図る	来訪者アンケート調査

体験コンテンツ満足度	体験者の満足度を把握することで、体験コンテンツの見直し、改善を図る	つんの～で波佐見とうのう体験の体験者へのアンケート調査
WEB サイトへのアクセス数	波佐見町に対する消費者や市場の関心度や施策効果の把握	Google アナリティクスにて集計
観光案内所来訪者数	来訪者のニーズや問い合わせ内容の把握をし、観光コンテンツやサービスの見直しを図る	観光案内窓口にてカウント
レンタサイクル利用者の動態調査	レンタサイクル利用者が何処から来たか、何に興味を持っているのかを把握し、観光コンテンツやサービスの見直しを図る	レンタサイクル申込書を利用した調査

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

波佐見町では、就業者数が多い窯業において高齢化や国際競争力の低下により、生産・出荷高が減少傾向にある。こうした地域課題に対し、地域が一体となり波佐見焼のブランド化や人材育成に力を入れている。同時に観光を新たな重要産業と位置づけ、段階的に観光協会の体制強化に努めてきた。現在は波佐見町観光協会が中心となり、波佐見町役場や地域の企業、住民と連携し、地域の観光資源を活用した観光地域づくりを推進し、インバウンドを含めた交流人口と観光消費額の増加に繋げている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	【強み】 ・400 年以上続く、陶磁器産業・波佐見焼が今も産業として脈々と継続している。 ・「カジュアルリッチな波佐見焼ブランド」として、この 10 数年間続けた結果、平成 29 年度には、観光入り込み客数が 100 万人を突破し、ブランド知名度は大きな広がりを見せている。 ・近隣観光地の佐世保、嬉野温泉からのアクセスがよい。車ではインターからの便がよく、福岡都市圏からの来訪が増えている。 ・グリーン・クラフト・ツーリズム活動で、窯業・農業・観光業の連携ができている。	【弱み】 ・窯元の土日休みが多く、観光客のニーズとのギャップがある。 ・観光客向けの飲食店が不足している。 ・宿泊施設が少ない。 ・外国語表記少ない等、外国人観光客対応ができていない。 ・公共交通機関（JR 有田駅）からのアクセスが弱い。 ・2 次交通、バスの本数が少ない、回遊できない。
外部環境	【機会】 ・コロナ禍の移動規制緩和と円安による外国人観光客の増加 ・「肥前窯業圏」として「日本遺産」に登録され、広域地域での観光連携ができるようになった。 ・2022 年 9 月に九州新幹線西九州ルートが開業された。	【脅威】 ・波佐見焼の陶磁器産業の生産高は減少傾向である。 ・消費人口減、波佐見町の人口減の到来。 ・物価高・収入の伸び悩みなど、スタグフレーションの影響による旅行消費額の減少。

	・長崎空港、佐賀空港に国内外のLCCが就航。 ・全国旅行支援など政府支援による旅行者及び旅行消費額の増加が期待される。	

（３）ターゲット

①第１ターゲット層 ・福岡都市圏、佐世保・長崎都市圏の陶磁器への興味がある女性
○選定の理由・圏域に一番近い巨大なマーケットである「福岡都市圏」と近隣の佐世保・長崎都市圏を設定。この10年近くで、確実に来訪しているエリアであり、女性が多いというアンケートの分析も鑑みて設定した。 ○取組方針 ・つんの～で波佐見「とうのう」体験コンテンツの提供 ・「クラフト・ツーリズム産業」としての西ノ原地区を中心とした、観光拠点の整備 ・波佐見町を特徴づけるお土産の開発
②第２ターゲット層 ・首都圏の陶磁器への興味がある女性
○選定の理由 ・福岡都市圏、佐世保・長崎都市圏では、観光地としての認知度も高くなったが、首都圏ではまだ認知度は高くない。首都圏で波佐見焼とともに観光で訪れる「陶磁器への興味がある女性」を設定する。 ○取組方針 ・波佐見観光協会での情報発信、動画等によるイメージの訴求 ・滞在時間を延ばすための宿泊客受入れの強化（既存の宿泊施設以外に民泊やゲストハウス、車中泊、キャンプ泊など多様な宿泊形態を活用） ・日本最大級の“器の祭典”「テーブルウェア・フェスティバル」での情報発信PR
③アジア（韓国、中国、台湾、香港、シンガポール）及び欧米の中で、陶磁器や食に興味嗜好の高いＦＩＴ旅行者
○選定の理由 ・既に、ターゲットのアジア（韓国、中国、台湾、香港、シンガポール）のＦＩＴ旅行者が波佐見に来訪してきていること。陶磁器やその歴史・文化、食に興味の興味嗜好の高いＦＩＴ旅行者がいること。SNSなどのメディアを活用したプロモーションで効果が見込めること。 ○取組方針 ・外国人モニターツアーの実施、外国人向け体験コンテンツの造成・OTA販売 ・アジア人向け動画作成、SNS情報発信

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	『陶・農・人でつながるワクワク観光まちづくり』
②コンセプトの考え方	波佐見町を訪れると 400 年の歴史をもつ「波佐見焼」に加え、半農・半窯という暮らし、やきもの文化が育んできた食・自然・地元の人が、いつでもワクワクさせてくれる。 古くて新しい空気感が大人だけでなく若者たちも魅了し、多くの観光客が訪れる。 　波佐見町の事業者、住民、行政が一丸となって、質の高いおもてなしサービスを提供し、来訪者の「記憶に残るやきものの町」になれるように、ワクワクさせる観光まちづくりに取り組む。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	・（一社）波佐見町観光協会では、行政、観光関連事業者、商業組合、工業組合、波佐見焼振興会、NPO 団体、経済団体、金融事業者、宿泊事業者、飲食事業者、農業関係者、文化団体などの会員で構成され、「クラフト・ツーリズム産業」の体験コンテンツの造成や、キャンプ場など宿泊施設の開発、お土産品の開発・販売などの収益事業を推進している。 クラフト・ツーリズム産業推進の取り組みとして、2020 年 2 月 14 日に「クラフトツーリズム産業協議会　全国大会」を開催（主催：波佐見クラフトツーリズム産業協議会、後援：波佐見町・肥前窯業圏活性化推進協議会、支援：波佐見町観光協会）。全国の伝統工芸品産地のキーパーソンや、経済産業省、旅行会社、学術関係者、金融機関、自治体関係者等 120 名ほどが集い、ものづくりとツーリズムの融合に関する情報を共有し、協働の意思確認を行った。 ・令和 2 年度（令和 2 年 4 月より）（一社）波佐見町観光協会、事務局長をマーケティング担当者とし、各種データの分析、PDCA サイクルを確立し、効率的な事業運営を行っている。 ・平成 28 年度に策定した「波佐見町観光振興計画」策定に基づき、平成 29 年度から「波佐見町観光まちづくり推進協議会」で、観光マーケティング調査を行い、観光振興計画の進捗をはかっている。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	【８次産業化へ向けて、地域資源を活かした質の高い魅力づくり】 〇窯業と農業のコラボレーションによるゆとりのある癒しの観光商品づくり 〇窯業により「食」の魅力を引き上げる観光商品づくり、イベントの開催 〇波佐見町を特徴づけるお土産の開発 〇文化資産（公会堂など）を活用した新たなイベントの開催 【滞在型観光を推進するおもてなし力の強化・拠点整備】 〇観光おもてなしガイド組織の育成と発展 〇おもてなしのための基礎ツールの充実 〇滞在型観光を推進する拠点整備（宿泊、民泊等の事業推進）

	○インバウンド観光の受入れ体制の整備 【広域連携、町内周遊を促す魅力向上への取組み】 ○観光スポットへ周遊を促す二次交通アクセスなど利便性の向上 ○肥前やきもの圏との連携や近隣市町の観光資源など他地域と連携した魅力向上
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	【誘客ターゲット別の情報発信と来訪者ニーズの把握】 ○誘客ターゲットを明確にした効果的なプロモーションと事後検証 ○継続的なマーケティング調査による来訪者ニーズの把握及び分析 ○ICT の特徴を活かした多様な情報発信

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	4,000	4,400	4,800	5,200	5,600	5,800
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	3,867	4,617	3,658			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（人）	目標	36,500	43,000	46,500	47,000	47,500	48,000
		（ ）	（ ）	(2,000)	(2,500)	(3,000)	(3,500)
	実績	41,891	45,958	46,395			
		(731)	(1,996)	（ ）			
●来訪者満足度（%）	目標	60%	61%	62%	95%	95%	95%
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	59%	95%	96%			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●リピーター率（%）	目標	95%	95%	95%	82%	83%	84%
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	84%	86%	81%			
		（ ）	（ ）				

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

様式１

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

平成 29 年度に策定した「波佐見町観光振興計画」策定に基づき、平成 29 年度から「波佐見町観光まちづくり推進協議会」で、観光マーケティング調査を行い、観光振興計画の進捗をはかっている。来訪者の実態調査の結果をもとに、来訪者満足度、来訪者リピーター率、また外国人の観光入込客数を把握していく。また、「第 6 次波佐見町総合計画」策定時に、2027 年の KPI を設定しているので、その過程と動向を踏まえて、2025 年以降の KPI を設定する。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

・第 6 次波佐見町総合計画の令和 9 年度の目標値を元に、均等割りにて令和 7 年度以降の目標値を設定する。

●延べ宿泊者数

・第 6 次波佐見町総合計画の令和 9 年度の目標値を元に、均等割りにて令和 7 年度以降の目標値を設定する。

●来訪者満足度

・来訪者の実態調査課より測定し、95%の維持を目安に、令和 7 年度以降の目標を 95%と設定する。

●リピーター率

・来訪者の実態調査課より測定し、前年度の伸び率 1%を目安に、令和 7 年度年以降の目標を設定する。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●ワンストップ窓口の観光案内数（人）	目標	4,000	4,800	5,000	5,200	5,400	5,600
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	4,358	4,950	5,023			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
●ワンストップ窓口での観光案内数【外国人】（人）	目標	0	100	120	140	160	180
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	0	18	116			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
●レンタサイクル利用者数（人）	目標	250	320	330	340	350	360
		(0)	(0)	(15)	(20)	(25)	(30)
	実績	301	320	213			
		(0)	(4)	(8)	（ ）	（ ）	
● WEB サイトへのアクセス数（千人）	目標	100	135	140	150	155	160
		（ ）	（ ）	(3.8)	(3.9)	(4.0)	(4.1)
	実績	130	134	132			
		(3.5)	(3.7)	(3.4)	（ ）	（ ）	

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
波佐見町観光協会では、2018 年まで観光案内窓口に訪れる観光客数を集計していなかった。また WEB サイトのアクセス数も把握しておらず、観光協会としての基礎的な実績を図る物差しがない状態であった。観光窓口業務における DMO の実績を客観的に把握するために、各種データ収集を徹底する。

【設定にあたっての考え方】
●ワンストップ窓口の観光案内数
・窓口での観光案内数をシンプルに手動カウンターで集計する。2022 年まではコロナパンデミックの影響を考慮する。
●ワンストップ窓口での観光案内数【外国人】
・FIT 外国人観光客をメインターゲットとする。ただし 2022 年まではコロナパンデミック影響を考慮する。
●レンタサイクル利用者数
・公共交通機関の利用客と FIT 外国人観光客の回復と取り込みを考慮して設定。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	39,501,885（円）	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 80,000 【市町村からの補助金】 14,901,623 【委託事業収入】 8,796,000 【事業収益】 14,429,876 【会費】 1,175,255 【雑収入】 119,097 【受取利息】 34 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 （円）
2023（Ｒ５）年度	38,544,740（円）	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 13,000,000 【その他補助金】 163,504 【委託事業収入】 7,170,000 【事業収益】 16,534,790 【会費】 1,140,000 【事務手数料収入】 416,720 【雑収入】 119,691 【受取利息】 35 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 （円）

様式１

2024（Ｒ６） 年度	54,483,243 （円）	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 13,000,000 【その他補助金】 0 【委託事業収入】 26,075,854 【事業収益】 13,751,116 【会費】 1,041,000 【事務手数料収入】 346,820 【雑収入】 263,357 【受取利息】 5,096 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 （円）
2025（Ｒ７） 年度(予算)	54,610,000 （円）	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 13,000,000 【その他補助金】 0 【委託事業収入】 19,000,000 【事業収益】 21,000,000 【会費】 1,170,000 【事務手数料収入】 440,000 【雑収入】 0 【受取利息】 0 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 （円）
2026（Ｒ８） 年度(予算)	55,630,000 （円）	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 13,000,000 【その他補助金】 0 【委託事業収入】 20,000,000 【事業収益】 21,000,000 【会費】 1,170,000 【事務手数料収入】 460,000 【雑収入】 0 【受取利息】 0 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 （円）
2027（R9） 年度(予算)	56,630,000 （円）	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 13,000,000 【その他補助金】 0 【委託事業収入】 21,000,000 【事業収益】 21,000,000 【会費】 1,170,000 【事務手数料収入】 460,000 【雑収入】 0 【受取利息】 0 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 （円）

様式１

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	39,753,650（円）	【商品仕入高】	9,216,973
		【観光宣伝費】	3,876,592
		【委託事業費】	2,553,674
		【支払助成金】	495,000
		【運搬費】	173,397
		【通信費】	1,411,942
		【消耗品費】	1,620,126
		【印刷製本費】	781,748
		【水道光熱費】	0
		【賃借料】	349,690
		【保険料】	106,730
		【租税公課】	118,250
		【諸会費】	154,370
		【諸謝金】	686,918
		【旅行交通費】	671,532
		【人件費】	12,328,591
		【福利厚生費】	52,671
		【接待交際費】	37,500
		【会議費】	193,940
		【法定福利費】	1,986,691
		【役員報酬】	120,000
		【燃料費】	400,912
		【支払手数料】	344,258
		【原価償却費】	1,970,295
		【雑費】	57,440
		【営業外費用】	44,410（円）
2023（Ｒ５）年度	37,626,334（円）	【商品仕入高】	9,632,039
		【広告宣伝費】	3,376,552
		【印刷製本費】	325,127
		【役員報酬】	120,000
		【給与手当】	10,392,933
		【賞与】	2,178,700
		【臨時雇用賃金】	644,187
		【法定福利費】	2,100,314
		【福利厚生費】	19,199
		【減価償却費】	946,988
		【賃借料】	670,800
		【消耗品費】	567,632
		【旅行交通費】	1,257,116
		【支払手数料】	1,056,050
		【租税公課】	520,300
		【交際接待費】	36,916
		【保険料】	108,045
		【通信費】	1,645,589
		【諸会費】	101,500
		【会議費】	144,698
		【支払助成金】	371,828

		【諸謝金】	36,000
		【委託費】	1,231,897
		【雑費】	18,820
		【寄付金】	20,000
		【支払利息】	32,104
		【法人税】	71,000
			（円）
2024（Ｒ６） 年度	53,149,173（円）	【商品仕入高】	11,535,294
		【観光宣伝費】	1,818,350
		【委託事業費】	3,233,647
		【支払助成金】	0
		【運搬費】	157,457
		【通信費】	963,432
		【消耗品費】	2,229,488
		【印刷製本費】	1,688,585
		【水道光熱費】	5,236
		【賃借料】	987,240
		【保険料】	392,000
		【租税公課】	1,343,250
		【諸会費】	177,395
		【諸謝金】	79,000
		【旅行交通費】	1,044,950
		【人件費】	20,851,854
		【福利厚生費】	86,533
		【接待交際費】	115,940
		【会議費】	210,377
		【法定福利費】	3,539,776
		【役員報酬】	120,000
		【燃料費】	161,023
		【修繕費】	0
		【寄付金】	0
		【支払手数料】	2,044,064
		【原価償却費】	199,742
		【雑費】	57,356
		【雑損失】	36,184
		【法人税】	71,000
			（円）
2025（Ｒ７） 年度（予算）	52,610,000 （円）	【商品仕入高】	12,234,000
		【観光宣伝費】	6,200,000
		【委託事業費】	760,000
		【支払助成金】	215,000
		【運搬費】	222,000
		【通信費】	1,651,000
		【消耗品費】	910,000
		【印刷製本費】	750,000
		【水道光熱費】	0
		【賃借料】	1,220,000
		【保険料】	376,000
		【租税公課】	885,354

		【諸会費】	810,000
		【諸謝金】	62,000
		【旅行交通費】	1,974,000
		【人件費】	18,730,242
		【福利厚生費】	25,000
		【接待交際費】	50,000
		【会議費】	190,000
		【法定福利費】	2,920,000
		【役員報酬】	120,000
		【燃料費】	400,000
		【修繕費】	200,000
		【寄付金】	20,000
		【支払手数料】	1,257,500
		【原価償却費】	332,904
		【雑費】	24,000
		【法人税】	71,000
			（円）
2026（Ｒ８） 年度(予算)	53,530,000 （円）	【商品仕入高】	12,234,000
		【観光宣伝費】	6,200,000
		【委託事業費】	796,000
		【支払助成金】	215,000
		【運搬費】	322,000
		【通信費】	1,851,000
		【消耗品費】	910,000
		【印刷製本費】	750,000
		【水道光熱費】	0
		【賃借料】	1,220,000
		【保険料】	380,000
		【租税公課】	985,354
		【諸会費】	810,000
		【諸謝金】	62,000
		【旅行交通費】	1,974,000
		【人件費】	19,050,242
		【福利厚生費】	25,000
		【接待交際費】	50,000
		【会議費】	190,000
		【法定福利費】	3,080,000
		【役員報酬】	120,000
		【燃料費】	400,000
		【修繕費】	200,000
		【寄付金】	20,000
		【支払手数料】	1,257,500
		【原価償却費】	332,904
		【雑費】	24,000
		【法人税】	71,000
			（円）
2027（Ｒ9） 年度(予算)	54,536,512（円）	【商品仕入高】	12,234,000
		【観光宣伝費】	6,200,000
		【委託事業費】	796,000
		【支払助成金】	115,000

		【運搬費】	322,000
		【通信費】	1,851,000
		【消耗品費】	910,000
		【印刷製本費】	750,000
		【水道光熱費】	0
		【賃借料】	1,220,000
		【保険料】	380,000
		【租税公課】	985,354
		【諸会費】	810,000
		【諸謝金】	62,000
		【旅行交通費】	1,974,000
		【人件費】	20,002,754
		【福利厚生費】	25,000
		【接待交際費】	50,000
		【会議費】	190,000
		【法定福利費】	3,234,000
		【役員報酬】	120,000
		【燃料費】	400,000
		【修繕費】	200,000
		【寄付金】	20,000
		【支払手数料】	1,257,500
		【原価償却費】	332,904
		【雑費】	24,000
		【法人税】	71,000
			（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

●観光案内所や、RV パーク、キャンプ施設の委託管理（指定管理含）による収益の確保
●レンタサイクルやレンタカー貸出事務代行を通じた手数料収益の確保
●波佐見町観光協会を販売元とした陶箱クッキーなど、お土産品の物販を通じた収益の確保
●物販イベントへの参加やワークシップ開催を通じた収益の確保
●窯業関係者とのコラボ商品開発などを通じた収益の確保

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

長崎県東彼杵郡波佐見町は、（一社）波佐見町観光協会を全力で支援し、当該町における地域DMO として登録を希望し、（一社）波佐見町観光協会とともに申請いたしました。

様式１

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	三浦　裕介
担当部署名（役職）	専務理事　兼　事務局長
郵便番号	859-3711
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷 2255-2
電話番号（直通）	0956-85-2290
ＦＡＸ番号	0956-85-2856
Ｅ－ｍａｉｌ	miura@hasami-kankou.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	波佐見町
担当者氏名	太田　誠也
担当部署名（役職）	商工観光課　課長
郵便番号	859-3791
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷 660
電話番号（直通）	0956-85-2162
ＦＡＸ番号	0956-85-5581
Ｅ－ｍａｉｌ	seiya-ota@town.hasami.lg.jp

都道府県･市町村名	長崎県東彼杵郡波佐見町
担当者氏名	久保田　亘
担当部署名（役職）	商工観光課　係長
郵便番号	859-3791
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷 660
電話番号（直通）	0956-85-2162
ＦＡＸ番号	0956-85-5581
Ｅ－ｍａｉｌ	wataru-kubota@town.hasami.lg.jp

（登録）【地域DMO】 一般社団法人波佐見町観光協会

様式2

記入日： 令和7年8月22日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
長崎県県　東彼杵郡、波佐見町
【設立時期】 令和元年12月2日
【設立経緯】
区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】 松下 和徳
【マーケティング責任者（CMO）】 三浦 裕介
【財務責任者（CFO）】 野口 雅彦
【職員数】 8人（常勤8人（正職員8人・出向等0人））
【主な収入】
収益事業　15.1百万円、委託事業　26.1百万円（令和6年度決算）
【総支出】
事業費　22.3百万円、一般管理費　19.2百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
波佐見焼振興会、株式会社新栄

KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	4,000（ ）	4,400（ ）	4,800（ ）	5,200（ ）	5,600（ ）	5,800（ ）
	実績	3,867（ ）	4,617（ ）	3,658（ ）	—	—	—
延べ宿泊者数（人）	目標	36,500（ ）	43,000（ ）	46,500（2,000）	47,000（2,500）	47,500（3,000）	48,000（3,500）
	実績	41,891（ 731 ）	45,958（ 1,996 ）	46,395（ ）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	60%（ ）	61%（ ）	62%（ ）	95%（ ）	95%（ ）	95%（ ）
	実績	59%（ ）	95%（ ）	96%（ ）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	95%（ ）	95%（ ）	95%（ ）	82%（ ）	83%（ ）	84%（ ）
	実績	84%（ ）	86%（ ）	81%（ ）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
・福岡都市圏、佐世保・長崎都市圏の「カジュアル・リッチな女性」～金銭的に余裕があり、活動的でライフスタイルへの意識が高い女性。
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・2022年よりプレスリリースサービスの利用を開始した。イベント告知などの際、よりターゲットに近いメディアを選び情報配信をしている。
【観光地域づくりのコンセプト】
『陶・農・人でつながるワクワク観光まちづくり』

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・令和元年～6年　肥前やきもの圏作家展を開催。
・令和3年～6年　HASAMI OUTDOOR FESTAを開催
・令和4年　キャンピングトレーラーの宿を開業

【受入環境整備】
・令和2年　観光事業者向け英会話教室を開催（全12回）
・令和2年　町内多言語化調査を実施

【情報発信・プロモーション】
・令和2年　観光マップの多言語化実施（英語・韓国語・中国語）
・令和2年　飲食店及び観光施設の情報カード作成（日本語＋英語）
・令和3年　「地域内循環事業」にて波佐見陶箱クッキーを開発
グットデザイン賞や長崎デザインアワードなど多数の賞を受賞

【その他】
・インバウンドモニターツアーを多数開催